

平成 30 年度 6 月定例記者会見 次第

日時：6 月 25 日（月）13 時 30 分～

会場：糸島市役所 庁議室

【出席者】

〔伊都国記者会〕朝日新聞、糸島新聞、西日本新聞、毎日新聞、読売新聞
NHK福岡放送局

〔糸島市〕市長、副市長、教育長

関係部 総務部、企画部、人権福祉部

関係課 総務課、地域振興課、秘書広報課、子ども課

1 市長あいさつ

2 7月のイベント

イベント情報

3 案件

（1）糸島市職員の募集について

（総務課） 資料 1

（2）九大生による学習応援「九大寺子屋」について

（地域振興課） 資料 2

（3）糸島市マーケティングモデル推進事業 第2弾商品について

（秘書広報課） 資料 3

（4）糸島市ファミリー・サポート・センター事業開始式について

市長短信で説明 （子ども課） 資料 4

4 市長短信

短信資料

5 懇談・その他

次回定例記者会見の開催日時（予定）

日時：7 月 25 日（水）13 時 30 分～

場所：糸島市役所 庁議室

糸島市職員の募集について

～ 一般職の年齢要件を更に緩和 ～

平成30年度糸島市職員採用試験を下記のとおり実施することになりました。

昨年度に引き続き、公共施設の老朽化等に対応するため、「建築技術」を募集します。また、職員の定年退職に伴い、糸島市発足後、初となる「渡船職員」を募集します。

なお、公示日を平成30年7月1日としておりますので、ご配慮をお願いします。

記

1 内 容

(1) 試験の区分と採用予定者数等

試験の区分	採用予定者数等
一般事務 A	4人程度(35歳まで)
土木技術 B	2人程度(35歳まで)
建築技術 C	2人程度(35歳まで)
渡 船 D	1人程度(35歳まで)

(2) 日程と会場

ア 申込受付期間：平成30年8月1日(水)～8月15日(水)

イ 第一次試験日：平成30年9月16日(日) 会場：糸島市立前原西中学校

ウ 第二次試験：平成30年10月中旬～下旬(予定) 会場：糸島市役所

エ 第三次試験：平成30年11月中旬～下旬(予定) 会場：糸島市役所

(3) 試験案内及び申込書の配付

糸島市役所の市民課(1階)、総務課(2階)及び各校区公民館に備え付けています。また、市ホームページからもダウンロードできます。郵便での請求も可能です。

2 添付資料 「平成30年度糸島市職員採用試験案内」

【問い合わせ先】
総務部 総務課 人事係(大西)
TEL：323-1111(内線1216)
332-2100(直通)

市内小学校の半数（8校）が実施！

九大生による学習応援「九大寺子屋」を実施します

1. 概要

九大寺子屋は、九州大学の学生（以下、九大生）が自らの研究内容を分かりやすく児童に教え、交流することで、次代を担う児童たちの学習意欲の向上とともに、九大生や九州大学に親しみを持ってもらうことを目的として、平成27年度から実施している事業です。

昨年度までは糸島地域の一体的な地域振興を図ることを目的に、福岡県と糸島市が協働して設立した糸島地域広域連携プロジェクト推進会議が、プロジェクトの一環として実施していましたが、今年度から糸島市単独で実施することとなりました。

2. 実施内容

小学校の土曜授業を中心に、九大生による児童への学習支援活動を行います。九大生と各小学校が打合せを行いながら、授業計画を立てて実施します。

九大生 約30人参加（九州大学新入学生サポート制度の学生等）
 実施予定日 平成30年7月から平成31年3月まで 16回実施（全33コマ）
 授業内容 授業内容については、九大生と実施校が協議のうえ決定します。
 実施校 以下の8校

	小学校名	対象学年	クラス数×実施回数
1	加布里小学校	5年生	2クラス×2回
2	前原小学校	5年生	4クラス×3回
3	一貴山小学校	5年生	1クラス×1回
4	長糸小学校	5年生	1クラス×2回
5	怡土小学校	5年生	2クラス×2回
6	雷山小学校	5年生	1クラス×3回
7	可也小学校	5年生	3クラス×2回
8	姫島小学校	全校生徒	1クラス×1回

平成30年度第1回目の九大寺子屋は

7月7日（土曜日） 怡土小学校 8：55～9：40

雷山小学校 10：55～11：40

是非取材をお願いいたします。なお、取材いただける場合は、小学校に取材許可を得る必要があるため、7月2日（月）までに市地域振興課にお問い合わせください。

3. 今年度の変更点

- 変更点1 実施校が8校に（市内小学校の半数が実施） 前年度6校
変更点2 糸島市が事業主体となり実施

4. 昨年度実績（平成29年度）

- 実施校 前原南小学校（3クラス×3回） 長糸小学校（1クラス×4回）
福吉小学校（1クラス×4回） 可也小学校（3クラス×3回）
引津小学校（1クラス×4回） 姫島小学校（全校×1回）
実施日 平成29年5月～平成30年3月 18回実施（全30コマ）
授業曜日 土曜日
授業構成 ダビンチタイム30分 児童アンケート等15分

ダビンチタイムとは

九大生が講師となり、九大生が大学で日ごろ勉強している研究内容や、小学校での勉強が実社会でどう生かされているかなどをスライドや教材を用いて分かりやすく授業。児童に学ぶ楽しさを感じてもらう授業です。

昨年度の授業内容例

- ・ロボットの世界（工学府）
- ・生き物のかくれんぼ（理学部）
- ・薬のカタチを考える（薬学府）
- ・オーロラのお話（理学府）
- ・3Dを体験しよう！（人間環境学府）
- ・天気の話（工学部） など

中心となっている九大生は、「九州大学新入学生サポート・学習サポート制度」のメンバー

➢「新入学生サポート制度」と「ティーチングアシスタント（学習サポート）制度」は、伊都キャンパスで学生生活をスタートさせ、何かと不安のある学部1年生に対する大学生活・修学支援を目的とする制度。

➢4月・5月の2か月間、新入学生サポート室に待機し、質問相談に対応。（期間中の質問相談者は、毎年延べ約1,500人。）

➢学習サポートは、学習面での質問相談に特化して、大学院生が対応。

過去参加児童と保護者の声（一例）

- ✓ 今まで知らなかった物事に興味を持ち、親に聞いたり、自らインターネットで調べて知識を深めるようになりました。（保護者）
- ✓ 新しい発見があり子どもはとても楽しんでます。自分から内容を話してくれ、親も知らない事なので家族で盛り上がっています。（保護者）
- ✓ 九大寺子屋があった日は、内容を聞かせてくれました。楽しい授業だったようです。九大に行きたいと思っているようです。（保護者）
- ✓ 九大では、どんな勉強をしているのか気になった。（児童）
- ✓ 先生（九大生）の話は分かりやすかった。帰って親に自慢したい。（児童）
- ✓ 今日話を聞いて、建築に興味がありました。九大に行ってみたい。（児童）

【問い合わせ先】

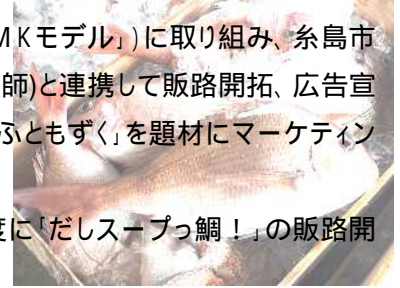
糸島市 地域振興課 定住・学研都市係（大鶴・中村・高嶋）

092-332-2062 E-mail chiikishinko@city.itoshima.lg.jp

糸島市マーケティングモデル推進事業第2弾「糸島産天然真鯛だし」完成！

マーケティングモデル事業の概要

本市では、平成28年9月から糸島市マーケティングモデル推進事業(以下「MKモデル」)に取り組み、糸島市食品産業クラスター協議会、博多女子高校、アジアン・マーケット(博多女子高講師)と連携して販路開拓、広告宣伝及び商品開発を一体的に行っています。平成29年度は、第1弾のJF糸島「ふともずく」を題材にマーケティングに取り組み、ローソンで商品化されるなど、以前の6倍の売上を達成しました。



第2弾として、糸島産天然真鯛のアラを利用した出汁が完成し、平成30年度に「だしスープっ鯛！」の販路開拓、広告宣伝を実施していきます。

「だしスープっ鯛！」商品概要

漁獲量日本一を誇る糸島の天然真鯛をもっと広く知ってもらい、特産品、ブランドにしたいと、(株)やますえで商品化を決意され、平成29年度にMKモデル商材として決定。博多女子高校の2年生と一緒に市場調査、販売側の出口調査、デザイン、常温製造、味の評価など多くの時間と試行を重ね「だしスープっ鯛！」がようやく完成。平成30年度から販売を開始します。



糸島産天然真鯛 100%使用

- ・ 800円(税別)
 - ・ 内容量 220ml(10倍濃縮)
 - ・ 常温保存
 - ・ ペットボトル
- 博多女子高生による
デザイン、ネーミング

第2弾の取組内容

真鯛の漁獲、エキスの抽出、お客様を想定した料理方法など、商品に関わる人たちの想いや工程を知り、体験しながら、また買っていただける人のことを一番考えながら商品化を進めてきました。

特殊な加工技術を見学(長崎)



料亭など
味や販売の評価



真鯛の漁師さん聞き取り



レシピ考案



今後の予定

出口調査で協力いただいた小売店などに販売依頼。さらに高校生による営業に加え、糸島の飲食店等による真鯛メニュー普及、宣伝に取り組みます。

販売先予定：志摩の四季、福ふくの里、やますえ、住吉酒販など



糸島市ファミリー・サポート・センター事業開始式式典を行います

7 月 2 日（月）の事業開始に先立ち、6 月 30 日（土）10 時から式典を行います。

式典では、糸島市ファミリー・サポート・センター事業の概要説明を行い、引き続き「おねがい会員」の登録会を行います。たくさんの方の参加をお待ちしています。

【開始式】

日時：平成 30 年 6 月 30 日（土） 10 時～

場所：糸島市交流プラザ志摩館 別館 2 階会議室（糸島市志摩初 30 番地）

【当日の日程】

1. 開始式

開会

挨拶（市長）

祝辞（来賓挨拶、紹介）

事業の説明

閉会

出席者：約 90 名に案内状を送付

来 賓：糸島市議会議長、副議長、市民福祉常任委員会委員長、市民福祉常任委員会副委員長

出席者：主任児童委員、代表区長、糸島市放課後児童クラブ受託法人、校区民会議、PTA 会長、シルバー人材センター、糸島市社会福祉協議会等

2. お願い会員説明・登録会（場所は開始式と同じ）

10 時 45 分～

11 時 45 分～

この開始式の後、7 月 2 日（月）から本格的な会員登録を開始し、10 月 1 日（月）より相互援助活動を開始します。

糸島市ファミリー・サポート・センター事業の概要

別添チラシをご参照願います。

「おねがい会員登録会」

日にち	時間	場所
7月14日(土)	10時30分～11時30分	糸島市交流プラザ志摩館3階 いとしまファミサポ事務局
7月18日(水)		
8月22日(水)		
8月25日(土)		

「サポート会員講習会」

土日コース(全2日)

日にち	時間	場所
8月4日(土)	9時30分～15時45分	糸島市健康福祉センターふれあい
8月5日(日)		
10月20日(土)		
10月21日(日)		

平日コース(全4日)

日にち	時間	場所
9月19日(水)	9時30分～12時20分	糸島市交流プラザ志摩館
9月20日(木)		
9月21日(金)		
9月25日(火)		

業務委託先

【事業者】糸島市ファミリーサポート(いとしまファミサポ) 代表者 吉村 登美子

【名称】糸島市ファミリー・サポート・センター

【場所】糸島市志摩初30番地 糸島市交流プラザ志摩館3階

【tel】332-8717

予算額

平成30年度～平成32年度 14,394千円(実施計画事業)

平成30年度...運営委託費及び開設準備費等 5,676千円

平成31年度...委託費 4,359千円

平成32年度...委託費 4,359千円

財源：補助対象経費に対して、国1/3、県1/3

目標

平成 30 年度...会員登録者数	50 人から 100 人
利用回数	年間 50 回から 100 回
平成 32 年度...会員登録者数	200 人
利用回数	年間 700 回

期待する効果

保護者等が仕事と育児を両立させ、安心して働くことができる環境を整えることで、保護者と児童の福祉向上につながる。

本市のファミリー・サポート・センター事業の特長

市では、本事業の開始にあたり、平成 28 年 5 月に市内で子育て支援活動を行っている団体等の代表者が会員を務める「ファミリーサポート事業推進ネットワーク会議」を設立し、以来 2 年間、市民アンケートの内容検討、事業内容、実施要綱（案）の策定などを協働で行いました。

さらに、この会議会員が母体となり、平成 30 年 3 月に『一般社団法人糸島市ファミリーサポート』を設立され、市は当該法人に本事業の運営を委託しました。

課題解決策を、市民と行政が協働で考え、事業を構築し、実現していくという意味で、大変意義ある事業であると考えております。

【参考】一般社団法人糸島市ファミリーサポート（いとしまファミサポ）のメンバー

代表理事	吉村登美子（前原ファミリーサポート ゆりかごの会）
理事	佐藤 倫子（福岡教育大学非常勤講師、一社ママトコラボ理事） 若松志摩子（元自治体職員） 肥田美恵子（愛しmaman 代表、株式会社 A s M a m a 認定共助サポーター（ママサポ®））
監事	三苫純子（元自治体職員）
代表社員	岡 三恵子（NPO 法人ジネス 代表理事） 尾崎 恭子（フリーライター、ディレクター） 宗野 美咲（マクロビオティック料理専門家）

【問い合わせ先】

人権福祉部子ども課 子育て支援センター係
担当：波多江

T E L : 代表 321-1111（内線 1661）

332-2074（子ども課直通）

糸島市ファミリー・サポート・センター

(平成30年7月より会員登録開始、10月より相互援助活動開始)



会 員 募 集

子育ての援助をしてほしい人(おねがい会員)と子育ての援助をしたい人(サポート会員)が会員となって、子どもの預かりなど、一時的な子育てを助け合う有償ボランティア事業です。

この事業は、糸島市の事業で、一般社団法人糸島市ファミリーサポート(いとしまファミサポ)が委託を受けて、実施します。

こんな方が利用できます

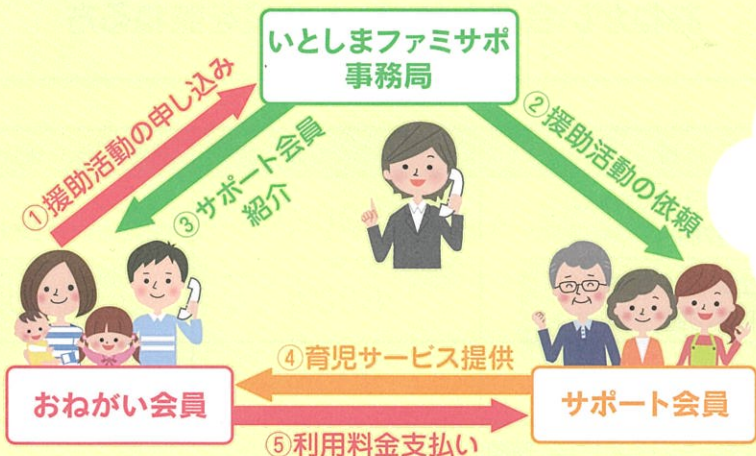
預かりをお願いしたい

- 乳幼児を連れて出かけにくい時
- 上のお子さんの授業参観や通院など
- 保護者の病気や冠婚葬祭等の急用時
- 子育てから離れてリフレッシュしたい時
- 放課後や放課後児童クラブの後



送迎をお願いしたい

- 保育園や幼稚園の送迎
 - 習い事への送迎
- など、どんな理由でも利用ができます。



援助活動の依頼の連絡や調整をするのが、「いとしまファミサポ」です。サポート会員とおねがい会員の交流も大切にします。

お問合せ
お申込み



糸島市ファミリーサポート(いとしまファミサポ)

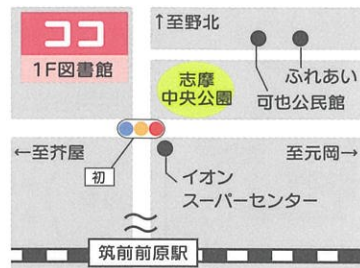
〒819-1392 糸島市志摩初30 糸島市交流プラザ志摩館3F

電話・FAX 092-332-8717

相談窓口/月曜~土曜 10:00~17:00

メール: info@itofamisapo.com

ホームページ: https://www.itofamisapo.com



ファミリー・サポート・センターの 利用方法



いとしまファミサポ事務局

いとしまファミサポ・アドバイザーが、
おねがい会員とサポート会員をマッチングします。

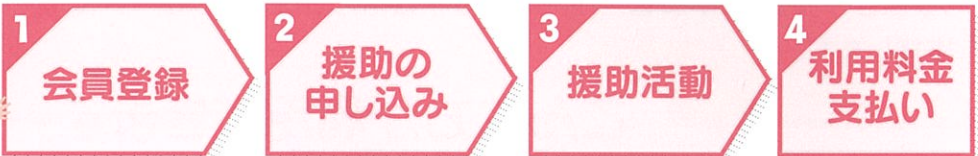


会員登録料
無料!

おねがい 会員



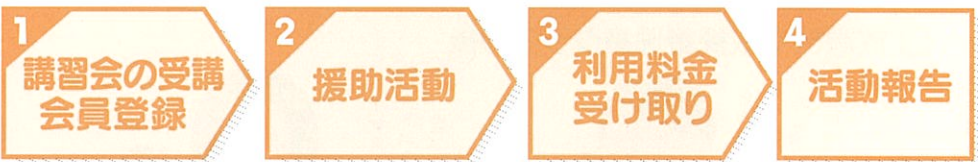
- ▶ 糸島市内在住または市内に勤務の方
- ▶ 利用方法などの説明を受け、会員登録をした方
- ▶ おおむね生後3か月～小学6年生までのお子さんがいる方



サポート 会員



- ▶ 糸島市内在住で20歳以上の方、糸島市内で援助活動が可能な方
- ▶ 性別・資格は問いません
- ▶ いとしまファミサポが実施するサポート会員講習会(10時間程度)を受講・修了した方(講習会は年3回程度、開催します。日時は別紙チラシやホームページでご確認ください)



※いとしまファミサポが当該講習会と同等の講習会を受けたと認める方(保育士資格保有、幼稚園教諭資格保有、子育てマイスターなど)は、講習会の一部の受講を免除しますので、お申し込みの際にお伝えください。

どっちも会員

おねがい会員とサポート会員を兼ねる方

「お礼の気持ち」
という性格のものです
利用料金は、援助に対する

曜日と時間	1時間あたりの料金	1時間を超えた場合(15分あたり)
月曜日から土曜日(祝日を除く) 午前7時～午後7時	600円	150円
月曜日から土曜日(祝日を除く) 午後7時～午後10時	800円	200円
日曜日・祝日(12/31～1/3含む)	800円	200円

- ▶ 「子どもと会った時から子どもと別れるまで」を、時間として計算します。
- ▶ 複数の子ども(兄弟姉妹に限る)の相互援助活動を行う場合、2人目以降につき、上記の額の2分の1で算定します。
- ▶ 最初の1時間までは、それに満たない場合でも1時間とみなします。
- ▶ 送り迎えを行う場合、上記利用料金のほか1回につき100円を追加します。送迎にかかる経費は実費相当を負担します。
- ▶ 宿泊での預かりはありません。
- ▶ 利用料金は、おねがい会員がサポート会員に直接、支払います。

その他

- ▶ 万が一の事故に備え、災害補償制度に加入します。(保険料はいとしまファミサポが負担します)
- ▶ 援助活動の前に、おねがい会員とサポート会員双方の顔合わせをします。
- ▶ 預かる場所は、原則サポート会員の自宅です。サポート会員・おねがい会員双方の合意があれば他の場所でも可能です。

